

## 農業経済学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 岩本博幸

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

マーケティングリサーチをはじめとした社会で広く利用される統計手法の習得をテーマとし、学術的評価にも耐えうる統計学の分析手法習得を到達目標とする。本講義は大きく3つのテーマに沿って進められる。  
①社会調査データの統計分析手法理解のための基礎知識の習得、②社会調査手法の習得、③統計分析手法の習得について大学院生自らが理論と研究課題を探索できるように、担当教員との論議を中心に講義を展開する。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

統計学

計量経済学

Operations Research

社会調査法

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	イントロダクション	・社会科学研究と統計手法の関係について学習。	事前配布資料の各回該当箇所を予習し、授業内で疑問点を解決できるように準備すること(目安1.5時間)。また教科書および参考書の該当箇所も併せて予習することが望ましい。なお、評価対象となるレポートを各回で配布するので、復習を兼ねて必ず解答すること(目安1.5時間)。
2	統計学の基礎知識	・記述統計および推測統計の基礎を学習。 (第2~3週)	
3			
4	社会調査法	・標本抽出の方法および調査手法について学習。 (第4~5週)	
5			
6	コンセプト探索シミュレーション	・マーケティングリサーチの統計手法を学習。 (第6~7週)	
7			
8	消費者商品選択モデル	・ロジットモデルによる選択実験について学習。 (第8~9週)	
9			
10	主成分分析	・主成分分析について学習。 (第10~11週)	
11			
12	産業立地モデル	・ハフモデルおよびMCIモデルについて学習。 (第12~13週)	
13			
14	金融モデル	・与信スコアリングモデルについて学習。 (第14~15週)	
15			

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

テキストは各講義の事前に配布する。

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』/森敏昭・吉田寿夫編著/北大路書房(2002)

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

各回で出題されるレポートを評価する。

### ◆オフィスアワー

毎週水曜日の14:40~16:10、研究室にて質問等を受け付ける。

### ◆その他受講上の注意事項